

□ 楽しいGWでしたか？ ～感染症の対応も変わり、再スタートです！～

北陽小学校に子どもたちの笑顔と歓声が帰ってきました。

ゴールデンウィークも明け、今日の子どもたちはやる気満々で生活しています。きっと、心躍る体験活動や交流を家族と楽しんで過ごしたからでしょう。子どもたちを成長させたり学びを深めたりすることは、学校だけでも家庭だけでもできないことはご承知の通りです。教育の第一義的責任は保護者にあり、家庭を離れて社会集団の中でよりよく学んでいける素地をつくるのが大切です。家庭での取組に感謝いたします。

学校は家庭と協力し、時代に応じた新しい学びを通して、多様な価値観を持つ人たちと共生する次世代を創造できるコミュニケーション能力を高めて、これからの予測困難な未来を生きるために必要な資質や能力を備えた人材へと育てていくことが求められます。

地域は、子どもを中心にして学校や家庭と連携・協働する活動を通して、持続可能で安心安全な活力に満ちた地域社会へと歩みを進めています。

学校・家庭・地域の三者の連携が深まり、協働活動が充実することで、それぞれのくらしが豊かになり、“生きがい”ある時間を長く過ごせると感じています。

感染症の対応については、本日からの変更を安心安全メールに添付してお伝えしています。今日から再スタート、みんなで力を合わせて実践を進めてまいりましょう。

□ 歓迎集会・歓迎遠足、楽しめました！

5月2日（火）の歓迎集会・歓迎遠足について、通信でお伝えしている学年・学級があります。楽しい様子や頑張っている活動などをご確認ください。早朝からのお弁当作り、ありがとうございました。

□ 学校からの文書の電子メール化について ～紙媒体文書を削減します。～

『学校から発出する文書を順次、電子メール化し、“安心安全メール”でお知らせいたします。急な変更は戸惑いますので、まずはこの通信“北風と太陽”から始めます。』とお知らせしてしました。この通信以外にも、育友会発出の文書や他機関からのお知らせ・チラシ等についても、安心安全メールを活用し、学校と育友会の業務を削減することで、SDGsと働き方改革の推進を図っていきます。よろしくお願いいたします。

□ ラブレター(！？)、いただきました！

学校が始まって一週間ほど経ったある日、低学年の男の子が「校長先生にお手紙を書きました。」と校長室にやってきました。嬉しい手紙はその後も続き、十数枚になりました。心温まる関わりができる子どもたちに囲まれて、幸せを感じています。

私も、子どもたちのためにできることをもっと頑張ろうと思いました。

